

3-4 パブリックコメント

3月14日から3月21日までパブリックコメント（新聞広告、HP）を実施し、3名の方から意見をいただきました。

意見番号	意見項目
1	・宮古空港ターミナルについて
2	・公共交通特定事業について ・道路特定事業について ・建築物特定事業 ・その他疑問点等
3	・西里通りにおける歩道、トイレや休憩施設、店舗について

3-5 その他市民意見

アンケート、ワークショップ、まち歩き以外の市民意見として、「自立生活センターまんだ」では、独自にまち歩きを実施され、その点検結果を基本構想に反映すべき成果として提出していただきました。

また、「宮古総合実業高等学校」では授業の一環として、宮古島市におけるバリアフリーのあり方を検討されているとのことで、その資料を基本構想に反映すべき成果として提出していただきました。

次頁以降にその内容を示します。

○ 「自立生活センターまんだ」による独自点検の結果（提出頂いた資料をもとに図面化）

○公設市場周辺～ポケットパーク裏
 ・一般の歩道と比べて、広くて安全そうに見えるので、車も入りやすく、違法駐車が多い。歩道入り口にポールを設置して車が入れないようにすべき（写真 11,12）
 ・舗装の違いによる段差があり、つまづきの原因になる、また点字ブロックが途切れている（写真 15,16）

○大原線（写真 19,20）
 ・歩道の坂が車道に比べて急で登りにくく、下りも急で怖い
 ・歩道の切れ目部分が車道側に傾斜になっており、転倒の可能性がある

○宮古実業高校裏（写真 21,22）
 ・歩道に電柱が立っていて車椅子の走行が困難
 ・段差が大きく傾斜があり、バックでしか上がれない

○下里通りと中央通りの交差点（写真 5,6）
 ・段差があり、転落の危険性があるので、車止めなどで通王を禁止するか、スロープ状に加工して欲しい

○サンエーカママヒルズ前（写真 4）
 ・側溝の穴が大きくて松葉杖が落ちて、折れたことがあるため、穴を小さくするか形状を変えて欲しい

○裁判所前（写真 7,8）
 ・歩道の傾斜が急で車椅子で走行すると車道に流れる

○北給油所前（写真 9,10,18）
 ・歩道のアスファルト部分は傾斜していて車椅子では車道に流れていく
 ・側溝の上を通行しなければならないが、側溝の上はふたがガタガタして不安定
 ・横断歩道から歩道に上がれないため、スムーズに上げられるように欲しい

○マティダ通り（写真 13,17）
 ・歩道のアスファルトが割れて穴が開いているため、歩行者の転倒の可能性があり、車椅子では通行しにくい
 ・歩道に補修跡が残っており、通行しにくい
 ・歩道がコンクリートブロックづくりのため、老朽化に伴い、ブロックの割れや盛り上がりが目立ち、車椅子の走行では振動が体に響き、転倒の可能性もある。視覚障がい者の方々の歩行は困難
 ・点字ブロックの設置が必要

○市場通り（写真 23,24）
 ・歩道に休憩できる場所があり、高齢者や障がい者にとっても憩いの設備である
 ・車止兼ベンチになっており一石二鳥である

- 都市計画道路名称一覧
- A. 西環状線（国道 390 号線）
 - B. 空港線（主要地方道平良城辺線）
 - C. 平良保良線（主要地方道平良城辺線）
 - D. 下里通り線（県道平良新里線）
 - E. 平良新里線（県道平良新里線）
 - F. 市場通り線（県道高野西里線線）
 - G. 久松線（県道平良久松港線）
 - H. 中央縦線（県道高野西里線）
 - I. 平良与那覇線（県道高野西里線）
 - J. マクラム通り線（県道高野西里線）
 - K. 中央縦線
 - L. 北環状線
 - M. 東環状線
 - N. 大原線
 - O. 下里通り線
 - P. 高校東線
 - Q. 荷川取線
 - R. 土川線
 - S. 大道線
 - T. 球場西線
 - U. 荷川取北線

- 凡例
- 施工済都市計画道路 :
 - 未整備都市計画道路 :
 - 意見対象箇所 :



現地写真



提案書

車いす利用者の 気持ちになって考える☆★

宮古総合実業高等学校 生活福祉科3年
課題研究福祉

池田 有里	池田 有里
伊上 液	伊上 液
狩野 地	狩野 地
小松 保	小松 保
宮川 吉	宮川 吉
城川 浜	城川 浜
錦川 七	錦川 七
松川 子	松川 子
宮川 期	宮川 期
宮川 海	宮川 海
宮川 佳	宮川 佳
宮川 汰	宮川 汰
宮川 楓	宮川 楓
宮川 葉	宮川 葉

① 市役所スロープ

市役所のスロープは、強いカーブと急な傾斜のため、利用者ひとりの上り下りがとても困難である。



また、利用者ひとりに介助者ひとりがついても、車いすを押すことが難しいため、他のスロープよりか倍の力が必要である。



高校生から見たバリアフリーの視点

自分たちの通学路や学校周辺・身近な場所ではバリアフリーチェックをしました。
私たちの通学路は、新宮古病院が来ると高齢者や車イス利用者が増えるので、いろいろな人が安全に利用できる道路を作ってほしいと考えました。

そこで、4つの問題点を探したので改善の方をお願いします。

- ①市役所スロープ
- ②市役所トイレ
- ③パイナガマのスロープ
- ④新宮古病院から市内に向かう道の問題点

私たちの考えた改善方法

改善方法として、カーブがなく直線的で傾斜のゆるいスロープを作りたいと考えました。

そこで、場所や距離について考えた結果、他の場所にはスロープを設置できない場所がありました。

★距離をとるためにはZ型が最適だと考えます！

宮古島市役所の勾配の比較

現在

距離 1324cm
高さ 164cm
勾配 1/8

改善案

距離 2860cm
高さ 164cm
勾配 1/17

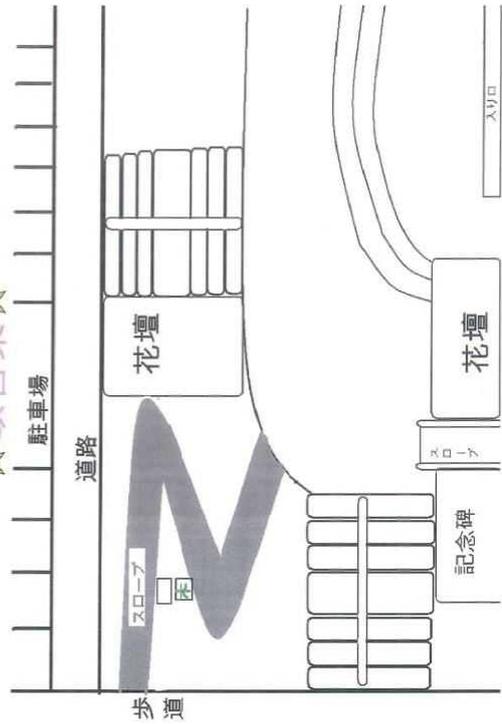
現在の市役所スロープの勾配は1/8と急な傾斜となっておりますが、私たちが考えた改善案によると、1/17と、とても緩やかなスロープになります。

※一般的には、1/12~1/15が良いとされています。

☆改善前☆



☆改善案☆



② 市役所のトイレ

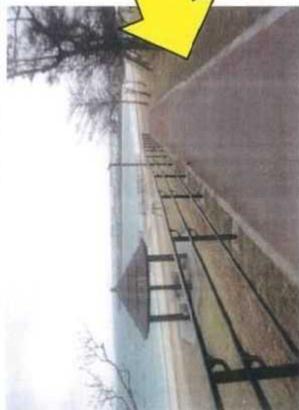
市役所のトイレは、車いすが通る入口の幅が狭く、ドアを開けても勝手にすぐ閉まるため非常に困難でした。

また、共有トイレの換気が悪く使用しにくいと考えました。



しかし！！

これは、駐車場からパイナガマに降りる時のスロープです。
 スロープは自走者だけでなく介助者にも車いすでのぼるには、
 坂が急すぎるため困難です！！



ここが
 急すぎです。

改善方法



改善方法として、車いすの利用者の
 立場を考えると怪我をしないよう、ドア
 が勝手に閉まらないようにしたほうが
 いいと考えた。

その結果

下地市役所の障害者トイレのように
 ドアにストッパーをかけてほしいことと
 車いすが入りやすく入り口の幅を
 大きくする。
 換気の方も良くしてほしいと思いま
 した。



私たちの考えた改善方法

- 改善方法として、スロープを長くしたいと思いましたが、
 スペースの都合上難しかった事がわかりました。
 また、階段昇降機などを取り付ける
 案も出しましたが、海辺のため機械がサビで
 使えなくなってしまうので、断念しました。

そこから考えた結果
 駐車場から遠くなりませんが、
 パイナガマ正面にあるコストア-
 前方のスロープを使うと介助者や
 自走者にも使いやすく、負担も減り
 ます。
 なので、駐車場スペースにこの
 スロープを使ってもらえるよう、
 看板を立てるのは、どうでしょうか？



③ パイナガマのバリアフリー

- これは、パイナガマのシャワー室と
 トイレの写真です。
 ここは、きちんとバリアフリーがされており、
 とても利用しやすかったです。





←③ここは曲線であるため自走用イスでの直進は困難。また、歩道の場所が駐車しているため歩道に上がるのも難しいです。

←④この歩道はきちんと整備されておらずが々がたで歩道に上がる際にも結構な段差があります。この通り両側の歩道に、電柱もあるため通過できないところもあります。



④ 新宮古病院から市内に向かう道の問題点！！

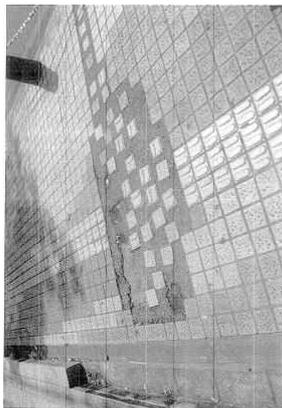


↑⑤歩道の幅は広いのですが、途中で車が出入りするための傾斜があるため、車イスだと流れてしまい、車道に出るため危険。



←①この道は一人歩くのが精一杯な道です。

←②途中までは、歩道を通ることができるとが電柱があるため、一旦車道にでて通行しなければならぬ。



↑⑥ この道路は点字ブロックがバラバラに置いてあるので視覚障害者の方たちにも迷惑になります。道もデコボコなので車イス利用者にとっては危険だと思います。公共工事した後の修復作業を丁寧にしてもらいたいと思います。

問題点として...

- ★その問題点は、新宮古病院から下里通りや公設市場・市役所など車イスで行こうとすると歩道にいろいろな問題があるため車道に降りて移動しなければならぬ。車道の幅も狭い所もあるので、**危険**だと思います。
- ★新宮古病院ができると車イス利用者や高齢者の人たちが増えるので歩道整備して学校周辺の問題点を解決してもらいたいです。

